

だいふく

大分社会福祉

No. **185**
2018.1

笑顔いっぱい!!
楽しい一年に!!



特集

平成29年・災害支援のとりくみ



Twitter

facebook

やっています。
ぜひ登録をお願いします。

大分県社協

検索

<http://www.oitakensyakyo.jp>



この広報誌は、共同募金の助成を受けて発行しています。

- 大分県民生委員児童委員大会／地域福祉推進大会
- 子育て環境セミナー
- いきいきセカンドライフ・インターンシップ
- 子ども食堂連絡会
- あすぴあフェスタ2017
- ボランティア全国フォーラム
- 苦情解決セミナー
- 経営支援事業研修会
- 共同募金会からのお知らせ
- 教育支援資金のお知らせ／賛助会員・募集／善意銀行
- ねんりんピック短歌俳句川柳展／ねんりんピック作品展

平成29年災害発生からの 復旧支援のとりくみ



平成29年、本県では、九州北部豪雨(7月)と台風18号(9月)という自然災害に見舞われました。

7月5日から6日にかけて発生した集中豪雨では、県内では特に日田市と中津市で甚大な被害が発生しました。このため、日田市社会福祉協議会(以下「社協」と表記)では災害ボランティアセンターを立ち上げ、九州ブロック社協災害時相互応援協定により、九州各県内社協からの協力も得ながら被災世帯への支援を行ってきました。中津市社協では通常のボランティアセンター活動として、地域住民の助け合い活動を中心とした復旧を図りました。

また、9月の台風18号では、県南部で1時間に110～120ミリの記録的な大雨に見舞われ、大分市や佐伯市、津久見市、臼杵市、豊後大野市では河川の氾濫などによる住家への浸水被害が相次ぎました。特に、津久見市では、市内の広範囲で浸水が発生し市役所と市社協も冠水したため、被害の全容がつかめない事態が続きました。

いずれの災害でも土砂災害等が発生したほか、停電や断水などライフラインへの影響もみられ、住家や商店等事業所、農林水産業への被害は、熊本地震の時の本県被害額を上回りました。

平成29年7月九州北部豪雨

被害状況

7月7日:災害救助法適用市町村…日田市、中津市
8月8日:激甚災害指定…日田市

被災地社協への協力支援

1. 情報提供: 人的支援、物的支援、今後の見込み等
2. 物的支援: フードバンクおいたから日田市社協に対して
食料支援(3日分セット(食料・水等)…在宅向け用)
3. 福祉避難所の支援: 7月8日、職員2名を派遣しニーズ調査
職員とともに福祉避難所の状況把握
を行い、県へ報告
4. 災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営
①センター等運営スタッフの派遣:
7月8日～7月10日…日田市社協等との今後の運営協議、
7月11日～8月31日…県社協並びに市町村社協より応援
職員を派遣
②災害ボランティアセンター等運営資材・物資の手配・
情報発信: 運営時の資材や物資の確保をはじめ、内外
への情報発信を継続実施
5. 九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定によ
り、九州各県へ応援職員の派遣を要請・受入(日田市)
6. 大分県社会福祉施設等災害時相互応援協定:
県内社会福祉施設と締結した協定に基づき、被災施設への
支援を実施

本会の活動概要

被害状況

9月17日:災害救助法適用市町村…佐伯市、津久見市
10月25日:激甚災害指定…津久見市

被災地社協への協力支援

1. 情報提供: 人的支援、物的支援、今後の見込み等
2. 物的支援: 高圧洗浄機などの不足物品・資材等購入
3. 災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営
①センター等運営スタッフの派遣:
9月19日～9月20日…佐伯市・臼杵市・津久見市社協と
運営協議(市町村社協職員2名も協力)
②9月21日～11月19日…県社協と市町村社協より応援
職員を派遣
【派遣期間内訳】
佐伯市9月21日～10月3日、臼杵市9月21日～30日、津
久見市9月21日～11月26日(ボランティア募集期間と
は異なる)、10月12日～22日県社会福祉士会と県医療
ソーシャルワーカー協会がニーズ調査班へ協力
③センター等運営資材・物資の手配・情報発信: 運営資材
や物資確保をはじめ、内外へ情報発信を継続実施
4. 災害ボランティアバス「がんばろう津久見号」の運行:
9月30日2台、10月1日2台、10月7日1台、10月8日1台、
10月9日1台、10月28日1台、11月3日2台、11月4日1台、
11月5日1台、
合計12台



災害ボランティアセンター等の概要 (平成28年度・29年度)						
平成28年熊本地震		九州北部豪雨	台風18号による水害			
発 災 日	平成28年4月14日・16日		平成29年7月5日	平成29年9月17日		
設置主体	由布市 社会福祉協議会	南阿蘇村 社会福祉協議会 (本県のカウンターパート)	日田市 社会福祉協議会	佐伯市 社会福祉協議会	臼杵市 社会福祉協議会	津久見市 社会福祉協議会
開所日(開始日)	4月20日	4月20日	7月8日	9月18日	9月18日	9月19日
閉所日(終了日)	4月26日	6月30日 (7月1日からは「南阿蘇村生活 復興支援ボランティアセンター」)	8月27日 (8月28日からは、 「ひちくボランティアセンター」)	10月13日	10月10日	11月19日
対応件数 ニーズ件(件)	46	674	497	215	72	705
ボランティア数 (延べ/人)	215	8,390	9,340	1,861	589	7,263
センター運営支援 職員派遣(延べ/人)	—	508	291	41	30	486
備 考	※ 南阿蘇支援ボランティア 竹田ベースキャンプ 竹田市社会福祉協議会 5月1日～7月31日 派遣ボランティア数 延べ 1,991人				※ 災害ボランティアバス 「がんばろう津久見号」 大分県社協 9日間(バス12台) 輸送ボランティア数 延べ381人	



～被災社協と応援社協から～ 災害ボランティアセンター…ふりかえり

日田市社協 小田 雅宣さん

日田市は発災翌日の6日午前中には災害VCの立上げを決めました。関係機関との連絡調整が進められ、行政及び県内外の社協、支援団体から運営の協力を得ることができました。また、被害の大きかった地区へ効率良く支援を行うため、大鶴サテライトを設置しました。

今回、物事がスピーディーに進んだことの一つに「つながり」があったと感じています。これから、被災者が一日も早く普通の暮らしに戻る支援を続けていきたいと思っています。支援に駆けつけていただいた社協職員の皆様、本当にありがとうございました。今後、復興した地域を見ていただきたいと思います。

臼杵市社協 久持 伸二さん

臼杵市は9月18日に災害VCを開設しました。県社協をはじめ行政、防災士会、青年会議所から人的支援を受け災害VCの運営にあたることができました。今回の災害を受け、日頃から災害対応の訓練をしておくこと、資機材の整備を行うこと、災害VCの設置場所についても事前検討をしておくことが必要だと感じました。

また、災害時における住民の繋がりや互助精神の啓発のため災害ボランティアネットワークの構築に取り組んでいきたいと考えています。今回ご支援いただいた皆さんに感謝しています。ありがとうございました。

佐伯市社協 安達 信也さん

7月・9月と、まさか2度も県内で災害VCの運営が行われるとは思っていませんでした。続く災害で、①市町村内での互助支援、②住民・行政・社協の連携と役割の確立が必要だと感じました。①は、被災地の中でも被害のない地域は普段の生活をし、被災地域は生活難となっている。被害がなかった人に協力体制が築けるのではないかと。②は、被害状況は地域から行政に伝え、社協へ詳細が伝わることで迅速な支援に繋がります。大変ですが、災害に対する初動は地域からの発信が重要です。

阪神淡路大震災から言われる「減災文化の構築」という意味では、小地域ごとの仕組みづくりが急務だと思います。

津久見市社協 小野 喬さん

津久見市では、ほぼ全域で台風18号の被害が確認され、社協の事務所も被災しました。事務所の片付けがままならない状態での初めての災害VC運営は、とても慌ただしいものでした。目まぐるしい日々でしたが、多くのボランティアや県内社協からの支援をいただきセンター業務を行う中で、認識を共有すること、そして、連携し連動することの重要性を改めて学ぶことができた2か月でした。

また、この災害で、多くの団体や事業所からの支援もいただきました。これを機に、今後への備えとしてのネットワーク整備を進めていければと考えています。2か月間、大変お世話になりました。

中津市社協 吉田 瑞穂さん

7月の豪雨災害では、5年前同様災害VCの立上げは行なわず、社協として段階的支援を意識しました。第1は被災された方の生活復旧、第2は高齢化の進んだ地域だけでは困難な要望に対する「地域復興支援」、第3は隣接する日田市への支援という経緯でした。特に、今回は直後から保健師や建築士等の専門職との連携する機会が多く、ニーズ調査と支援のあり方について考える機会となりました。

津久見市社協の災害VC支援では、立上げ直後から約1か月間ほぼ毎日運営支援に多くの職員が関わり、支援者側の情報共有を内部間ですることで、より深く「運営支援」を学ぶ機会となりました。

大分市社協 松村 匡貢さん

被災地社協への支援活動とは、災害VC運営と、平常時での活動に復帰できることに協力することと考えています。支援社協が求められることは「被災地社協内で不足する役割を補う人材の派遣」となるはずですが、つまり、被災地社協の現状を的確にアセスメントし、必要な対応を行うことは、我々社協職員が日常的に行っている「支援活動」と違いはないと思います。

しかし、災害という非日常的な現象に戸惑いが生じ、「的確な支援」が必ずしも実施できてはいないのが現状です。災害時を身近な現象と考え、多くの職員が対応できるよう、大分市は今後も取り組みます！

玖珠町社協 長 千和さん

近年、災害支援に関わることが業務の中で必然的に求められるようになってきました。職員数50名弱の社協としては、通常業務と並行して行う支援は、周囲の理解と協力なしでは難しいのが現状です。しかし、数年前から職場内で災害対応への意識共有を進めており、今年は社協全体で被災地支援を行うことが呼び掛けられ、日田・津久見・臼杵市支援に延べ150人強の職員を派遣することができ、ボランティアとして現場活動に参加する職員もいました。

このことは今後、災害VC運営スタッフの活動や被災者・ボランティアへの理解と、職場での日常業務の取り組みに繋がっていくと思います。

大分県社協 森 美菜子

今年は災害VCの運営支援に携わる機会を多くいただきました。地域ごとで運営方針・方法も異なるので、地域の状況、地元社協の方針、被災状況など様々なことを勘案し、県社協としての運営支援はどうあるべきなのかを考えることは、とても勉強になりました。たくさんの市町村社協の先輩方のお力を借りながら、支援に関わることで多くのことを学べてとても感謝しています。

「気持ちだけでなく、具現化し実現していく」、「気持ちは熱くても頭は冷静に」。この2つの言葉を肝に銘じて、これから県社協として積極的に関わっていきたいと思います。



この2度にわたる災害には、県内外の皆様から救援物資や義捐金など暖かいご協力をいただき、また、多くのボランティアの皆さんが復旧活動で力強いご支援をいただきました。誠にありがとうございました。

また、社協スタッフに加え、今年度初めて正式に下記団体と連携して被災者のニーズ調査にあたり、迅速な調査が実現しました。

平成29年大分県社会福祉士会等災害支援状況

団体名 \ 派遣人数(実数)	九州北部豪雨災害	台風18号災害
(公社)大分県社会福祉士会	24名(18名)	23名(15名)
(一社)大分県ソーシャルワーカー協会	17名(16名)	7名(5名)
大分県精神保健福祉士協会	—	22名(12名)
合 計	41名(34名)	52名(32名)

被災社協では、災害で混乱するなか緊急対応に追われ、ボランティア等の受け入れや地域住民への計画的な支援活動が十分行えない状況が生じます。このため、県内・県外の社協関係者による広域的な緊急支援が必要となります。

これまでも被災地社協に対し、適宜、支援スタッフの派遣などによる応援を迅速に行ってきましたが、今後は、広域で災害が発生した場合や支援が長期化した場合に、安定・継続的な応援を実施するための体制づくりが課題となっています。

社協職員のほか関係団体などにより、災害ボランティアセンターの受付や資機材など各セクション業務を行える“支援スタッフ”をできるだけ多く養成・登録するだけでなく、社協職員として、被災した市町村社協の通常業務部門と災害ボランティアセンターの橋渡しや、包括的観点から全体を統括できる“運営支援者”を新たに養成していくことも求められています。



災害ボランティアセンターで心がけること 『被災した地元社協の負担軽減と全体の和』

「支援スタッフ」の役割

(受付・オリエンテーション・マッチング・資機材など)

- 各セクション(班)業務の迅速・円滑な遂行
- 各セクション同士の連携
- 次に交代で来る支援スタッフへの引き継ぎの徹底 など

「運営支援者」の役割

- 日替わりで来るセンタースタッフの把握
- スタッフへの業務内容の説明(地元社協に負担をかけない)
- 地元社協が中心に行う業務(総務・ニーズ・マッチング・情報)のサポート
- センター全体の動きで上手く回っていない部分の修正 など



支え合う 住みよい社会 地域から

100周年大分県民生委員児童委員大会



大分高校書道部によるパフォーマンス



8月29日、「民生委員制度創設100周年」を記念して「大分県民生委員児童委員大会」を別府ビーコンプラザにおいて開催しました。県内各市町村より約3,000名の民生委員・児童委員が参加しました。

県警音楽隊によるオープニング演奏の後、午前中は表彰式典と広瀬勝貞県知事の講話。午後は大分高校書道部アトラクションをはさみ、中西麻耶さんの記念講演『チャレンジ！あきらめない心～たくさんの人に支えられて～』、大会宣言という日程で進められました。



広瀬県知事 講話

「住民の安否確認、要支援者への対応に非常に感謝しています。なり手不足のなかで、本県は受給率90%以上ということに大変有難く思っています。

今後、大分県の展望として、子育て満足度日本一、健康寿命日本一、障がい者雇用率日本一の実現に向け、ともに努力していきましょう」



中西さん 記念講演

「子どもたちに夢を与えたい。夢をもって生きてほしい。夢はひとつしか見られないのではないし、年齢制限があるわけでもない。夢と愛があふれる

社会になることを願っているし、地元に感謝し、恩返しをしたい。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは絶対に金メダルを獲ります」

第12回 大分県地域福祉推進大会

10月13日、別府ビーコンプラザにて「第12回大分県地域福祉推進大会」を開催しました。午前の部では、今年も県内で社会福祉の推進に尽力されている多くの方々・団体が表彰されました。



大分県社会福祉協議会会長 表彰・感謝状 受賞者数

	会長表彰	感謝状
個人	139名	31名
団体	16団体	12団体

午後の特別講演では、講師にNPO法人つどい場さくらちゃん理事長丸尾多重子氏をお招きし、「笑顔で介護、介護で笑顔！大切な人が住み慣れた家、地域で暮らし続けるために」と題してご講演いただきました。講演では、ご家族の介護の経験をもとにユーモアを交えながらお話をしてくださり、介護をしている人にとっても前向きな気持ちにさせてくれるような時間となりました。



『子どもの居場所を考える』をテーマに

子育て環境セミナーを開催

11月28日、別府ビーコンプラザにて平成29年度子育て環境セミナーを開催しました。地域全体で児童や子育て・児童のいる家庭ともっと主体的に関わり、子どもの健全育成や地域での“居場所づくり”を進める取り組みをとおして“地域ぐるみの子育て支援の輪”を広げることが目的に開催し、県内各地から542名の方に参加いただきました。

はじめに、映画「さとにきたらええやん」の上映を行いました。大阪市西成区釜ヶ崎で38年にわたり活動続ける「こどもの里」。0歳から概ね20歳までの子どもを、障がいや国籍の区別なく無料で受け入れており、各家庭の事情に寄り添いながら、貴重な地域の集い場としてあり続けています。

上映後、「こどもの里」の理事長である荘保共子(しょうほともこ)さんに『“子どもが生きる力”を守る』と題して貴重な体験談を講演いただきました。



荘保さんの講演にて・・・子どもを支える3つの条件



- ① 意味ある他者との出会い(自分の気持ちをきちんと聴いてくれる大人との出会い)⇒こどもの里では子どもたちの夜回り活動で、路上生活者へのやさしい言葉かけができ、路上生活者が明日への希望を見いだすことができた。
- ② 安心できる場(ありのままの自分を受け入れてくれる場)があること⇒子どものありのままを認め、自己肯定感を育むことを大切にしましょう。
- ③ 子どもを支えるシステム(制度)「子どもの貧困対策の推進に関する法律」「子どもの貧困対策に関する大綱」⇒子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることがないよう環境整備と教育の機会均等をはかる。
(日雇い労働者の子が親に気をつかい学校行事を休む、戸籍がないために学校に行けない子と出会った経験から)全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していくことのできる社会の実現をめざし、子どもの貧困対策を総合的に推進する。子どもの生まれた環境によって、子どもたちの人権やいのちが左右されないようにするのが大人の役目。



いきいきセカンドライフ・インターンシップ開催!!

10月31日、大分市のトキ八会館において「いきいきセカンドライフ・インターンシップ」を開催しました。

このセミナーは、在職中から社会貢献やボランティア活動に親しみ、退職後も地域や社会の一員として、生きがいを持ったいきいきした人生を送り、健康寿命の延伸に資するため、企業・団体に働く勤労者を対象に、社会貢献の意義やボランティアのやりがい等を理解してもらい、実践につなぐことを目的して実施しました。

ステージでは、月刊生涯学習通信「風の便り」編集長の三浦清一郎氏の「生きがいにあふれるセカンドライフに向けて」と題した基調講演や4団体の活動報告(日本文理大学、共に生きる、ボランティアみちの会、ハートフルウェーブ)を行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、16の団体(左記)が面談ブースを出展し、活動に興味関心を持つ面談者からのインターンシップへの参加の受付を行いました。



平成29年度 いきいきセカンドライフ・インターンシップ出展団体

- ボランティアみちの会
- チーム2℃おおいた協議会
- うーたの会
- 特定非営利活動法人 地域ひとネット
- NPO法人 リラクセーション桜
- 金池子ども・みんなの食堂
- 特定非営利活動法人 自立支援センターおおいた
- ハートフルウェーブ
- NPO法人 共に生きる
- しげまさ子ども食堂〜げんき広場〜
- 社会福祉法人清浄園 児童アフターケアセンターおおいた
- 特定非営利活動法人 パワーウェーブ日出
- 特定非営利活動法人 大分県ノルディック・ウォーク連盟
- 特定非営利活動法人 大分県発明研究会
- フードバンクおおいた
- めじろん共創応援基金 おおいたボランティアNPOセンター





地域でつながろう! 子ども食堂の輪!



第1回・第2回子ども食堂連絡会を開催しました

全国的に広がりを見せている「子ども食堂」。県内でも29か所に増え、子どもたちに食事や居場所を提供しようという取組みが広がっています。

その「子ども食堂」の運営者達が、情報交換や意見交換を行うことで横のつながりを強め、県全体で子ども食堂の活動を盛りあげていこうという趣旨で、今年度6月6日と11月28日に、「子ども食堂連絡会」を県子ども・家庭支援課との共催で開催しました。

両日とも、多くの子ども食堂運営関係者らが一堂に会し、お互いの活動紹介や日頃の悩みについての意見交換を行いました。また、本会が実施するフードバンクの取組みや県生活環境部食品・生活衛生課から、保健所におけるこども食堂の取扱いについての説明などがあり、有意義な会となりました。



第1回会議のようす



第2回会議のようす

意見交換の一部紹介



Q 子どもたちの送迎ってどうしてるの?

お母さん達に送迎をお願いしていますよ。

送迎をしていますよ。

学生ボランティアをお願いしたりしますよ。

送迎を義務づけると利用できないこともあるから、友達同士で来てもOKにしています。

Q 運営上の課題はあるの?

名称から貧困というネガティブイメージを受け、親が参加にストップをかける兆しもみえるのよ。

食品の衛生面に気を使っているけど、ボランティアさんへの徹底がなかなか難しいね。

継続実施を行う中で、子どもたちがよく食べるようになったという効果が出てきているよ。

始めてから1年半が過ぎたけど、スタッフが少なくて継続が難しくなってきたと感じています。

保護者に参加してもらっていて、子どもと一緒に活動ができることがありがたいという感想もいただいています。

子どもからのニーズとしては、バーベキューがしたいと言われています(笑)。

Q 参加者の声や変化は?

参加申込を電話じゃなくてLINEに変えてもらえないかという話を受けています。

保護者からのニーズとして、勉強を教えてほしいという声が上がっています。

毎日型で実施しており、夕方になると子ども達が遊びに来ます。子ども達が遊んでいると、帰り際にお母さん達から「ありがとう」と声掛けをいただくのが嬉しいです。

Q 保健所への申請や保険ってどうしてるの?

保険なども保健所でアドバイスもらえましたよ。

保健所へはバザーの届けを出していますよ。

保険には加入していないけど、連携先病院の小児科で対応できるようにしていて、学校や保護者にもそのように伝えていきますよ。

営業許可を取れるように、衛生管理責任者の資格をとって準備をしています。



障がいと向き合う「共生」の体験!

「あすぴあフェスタ2017」 開催!!



大分県身体障害者福祉センターでは、昨年度、開設30周年を機に愛称を募集し、「あすぴあおおい」と名付けていただきました。今回は、これまでの「ふれあいフェスタ」の名称をあらため、愛称にちなんで「あすぴあフェスタ」として開催しました。

ふれあいトーク

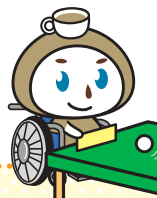
障がい者がそれぞれの障がいや課題にしっかりと向き合い、乗り越え、たくましく活動して欲しいという思いを込めて、「バリアを超えて旅に出よう」と題した講演会を開催しました。講演会後に行われた講師の高萩徳宗さんと車いすアスリートの廣道純さんとのトークショーでは、障がい者の旅をめぐって、ユーモアも交えた辛口の本音トークが繰り広げられ、多くの参加者の共感を呼んでいました。



ふれあい市&卓球バレー

視覚や聴覚にハンディのある方々の課題解決に向けた基本的なアプローチとなる手話や点訳・音読の体験や、ストレスから開放されるための心の持ち方を学ぶ「こころのスキルアップトレーニング」のコーナーなど、障害者福祉の取り組みを体感しながら学習できるコーナーにも、多くの皆さんが関心を持って参加していました。

雑貨や軽食を販売した「ふれあい市」や、普段一般に目に触れる機会の少ないサウンドテーブルテニスや卓球バレーなどの障がい者スポーツのコーナーも多くの方で賑わいました。



みやうじっくフェスタ

太陽の家の関係者が中心となる「アンサンブル太陽」による吹奏楽や、障がいのある子どもも一般の子どもと共に元気よく踊る「GENKIっず」のジャズダンスなど、「音楽」を楽しむイベントでは、会場が一体となって盛り上がりしました。



ボランティア 全国フォーラム2017 (広島県福山市)に参加

11月18日・19日のフォーラムに、6市町ボランティア連絡協議会から24名(このうち11名は県ボランティア連絡協議会が用意したバスに乗り)が参加しました。「熱くかたりあおう!そしてステップアップin備後」をスローガンに、「ボランティア活動と市民活動」のあらゆる可能性について語り合い、活動の将来展望に対する認識を深めるものでした。1日目は基調講演とシンポジウム、2日目は7つの分科会が用意され、それぞれ関心のある会場へ向かいました。



平成30年度は長野県軽井沢町で11月3~4日で開催予定です。

平成29年度

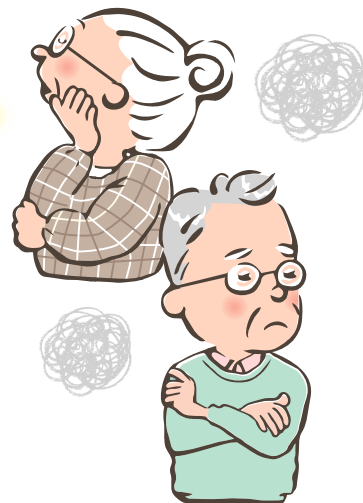
苦情解決セミナーを開催します!

今年度も、社会福祉施設等の苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員等を対象として、苦情解決セミナーを開催します。

福祉サービスの多様化に伴い、複雑化していく苦情に対応できるスキルを身につけ、さらなる福祉サービスの向上のために、ぜひ参加してみませんか?

今年度は、昨年度の内容よりも少しレベルアップして、困難事例に対する対応の仕方について学べる内容となっています。

みなさまのご参加をお待ちしております!



日時 平成30年2月14日(水) 10:00 ~ 16:00

場所 大分県社会福祉介護研修センター 大ホール

対象者 社会福祉施設、社会福祉協議会、福祉関係団体の苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員等

参加費 県社協会員施設・・・4,000円
県社協非会員施設・・6,000円

申込み ご案内は各施設へ送付していますので、平成30年1月31日(水)までにお申込みください。詳しくはお問合せください。

定員
200名

問い合わせ先

大分県社会福祉協議会
大分県福祉サービス運営適正化委員会
担当: 森

TEL:097-558-0301
FAX:097-551-5454



平成29年度社会福祉施設等経営支援セミナー(1・2月)ご案内

プロ意識醸成研修 ~仕事の意識向上のために~

「大切な人をお任せいただくこと」によって対価を頂き、運営されているのが福祉事業所。では、もしあなたが大切な人を任せることになったら、どんな福祉職員に任せたいですか。福祉職員における「プロフェッショナルの定義」とは何でしょうか。福祉サービスの本質とは。

研修では、「福祉サービスのプロとしてどうあるべきか」について改めて考え、福祉の仕事の本質を見つめ直します。

日時 平成30年1月17日(水)
10:00 ~ 16:00(受付開始9:30)

対象者 職員の仕事意識を改善したい、「より質の高い福祉サービスを提供したい」、「組織内の人材が育たない」と感じている管理職、中堅職員、教育担当職員

内容 ①「組織人としての自分」「福祉サービスの本質」を再確認し、プロの福祉サービス提供者としてのあるべき姿を再考する
②自身の日常の仕事を振り返り、プロとしてあるべき姿と比較し、具体的な改善点を設定する

利用者様満足(CS)向上研修

社会から「成長業界」と認識されている福祉分野。今後も世間からの注目が増し、競争にさらされていくことが見込まれます。周囲の環境や顧客が進化していく世の中で、「必要とされ続ける」ためには、顧客満足(CS)について理解すること、「顧客の視点を持つこと」が肝要です。究極の「サービス業」であるべき福祉業界において、今「なぜ顧客満足が重要なのか」「顧客とは何なのか」、誰かに教わるのではなく、「自ら気付く」ことのできる研修を実施します。

日時 平成30年2月7日(水)
10:00 ~ 16:00(受付開始9:30)

対象者 「福祉サービスの本質を理解したい」、「顧客と職員のやりとりに疑問(違和感)がある」、「細かいクレームが後を絶たない」と感じている施設責任者、現場管理者、担当職員、一般職員

内容 ①現代に求められるCSとは何かを徹底的に考える
②サービスの本質を知り、利用者様の満足をとらえるためのポイントを学ぶ
③不満足要因をクレームの意味を再考する

上記研修会の会場やお問い合わせ等は、下記のとおりです。奮ってご参加ください。

会場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
(大分市大津町2-1-41、TEL:097-558-2945)

参加費 県社協会員施設・・・1人 4,000円
県社協非会員施設・・1人 6,000円

※お釣りのないようにご準備ください。

お申し込み先

大分県社会福祉協議会 施設団体支援課
担当: 赤峰

TEL 097-558-0300 FAX 097-558-6001



共同募金運動の一環で毎年5月から別府市内の福祉団体に募金箱を配布し、今年は約2,400箱を開けました。募金額1,109,653円集まりました。ご協力いただき、ありがとうございました。



今年は、約2,400箱ほどご協力いただきました



空き箱を開封して、タライに集めている様子

大分県共同募金会より

平成30年1月より、新しい募金

「つかいみちが選べる赤い羽根募金」が始まります！

この募金は、社会課題の解決や地域の福祉課題に取り組もうとする団体が、共同募金会と協働して、解決しようとする課題や自らの活動を伝え募金を呼びかける募金手法です。詳しい募金方法は、大分県募金会までお問い合わせください。

★ 今年は下の2団体が活動します ★

1

子育て応援事業
ゆずりは子育てサロンるんるん♪



社会福祉法人大分県福祉会 児童養護施設森の木
児童家庭支援センターゆずりは

虐待をしない！させない！ゆずりはネットワーク

児童家庭支援センター「ゆずりは」では、子育てのあらゆる相談に応じています。

- ① 24時間365日対応します
- ② 心理士やソーシャルワーカー等専門スタッフが対応します
- ③ いつでもどこでも訪問します
- ④ 子育ての悩み、何でも受け付けます
- ⑤ 相談料は無料です

活動内容

子育てサロンで つながる・ひろがる・そだちあう

サロンでは、こんな活動をしています。

- ① 気の合う仲間づくり
- ② 保護者がリフレッシュできる時間・場所の提供
- ③ こどもたちの自立へ向けた様々な体験活動の提供

課題内容

子育てを共有できる時間と場所が必要です

子育てを1つの家庭の中で完結させることは困難です。こどもを気軽に預けられる場所、日曜日の日中に預けられる場所、こどもの社会活動体験のプログラムを用意することで、頑張る子育て家庭の応援をしたいと考えます。いただいた寄付金は、「ゆずりは子育てサロンるんるん♪」の教材費やボランティア保険、会場利用料として、大切にに使わせていただきます。

2

子ども達にふれあい囲碁®で
友達づくり応援事業



特定非営利活動法人
地域ひとネット

「ふれあい囲碁」ゲームを活用して、対人コミュニケーションの力を育む活動をしています。

ルールは一つで、園児から高齢者までどなたでも一緒に遊ぶことが出来、遊びを通して、色々な考えがあること、待つこと、みんなで協力することを体験し学びます。

活動し地域で安心した環境づくりのための世代間交流、学校や施設での人間力の向上を目指しております。

活動内容

食後に囲碁ゲームで楽しい時間を提供

この活動を通じて、地域で活躍している団体の支援も同時に行っています。具体例としては、「ふれあい囲碁」使った子ども食堂での食後の時間を有効活用する提案しています。

「ふれあい囲碁」は幼児から高齢者まで一緒に遊べるゲームです。

課題内容

子どもを主役に地域の方と交流を

子ども囲碁リーダー養成のテキストを作成費及び簡易囲碁セット費をいただきたいのです。

子ども達が囲碁リーダーとなり、地域の方との世代間交流会を実施したいと考えています。そのために子ども用の説明冊子が必要です。

県内の子ども食堂への訪問活動、ふれあい囲碁での地域交流のための普及促進にどうか、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

募集します！

NPO、ボランティア団体、グループ等の地域福祉活動を応援します。お気軽にお問合せください。

大分県共同募金会

検索

社会福祉法人 大分県共同募金会

〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号大分県総合社会福祉会館3階

TEL 097-552-2371 FAX 097-552-6250

あなたの夢を応援します！ ～教育支援資金のご案内～

教育支援資金では、低所得等で進学が準備できない世帯を対象に、高校、短大、大学、高等専門学校等に就学するのに必要な経費を無利子でお貸しする貸付制度です。

教育支援資金

1. 教育支援費

低所得世帯に属する者が、学校教育法に規定する高等学校以上の学校に就学するのに必要な費用。
(例: 授業料、学校納入諸経費、参考書、学用品、交通費、下宿・アパート代等)

【貸付限度額】

① 高等学校	月35,000円以内	(6ヶ月毎の分割交付)
② 高等専門学校	月60,000円以内	※熱意や計画性が確認された場合には、
③ 短期大学	月60,000円以内	貸付限度額を1.5倍まで増額できます。
④ 大学	月65,000円以内	

2. 就学支度費

低所得世帯に属する者が、学校教育法に規定する高等学校以上の学校への入学に際し、必要な経費。
(例: 入学金、制服、教科書、下宿の敷金等学校入学時に納入・購入するもの)

【貸付限度額】 500,000円以内(一括交付)

貸付対象者

大分県内に居住(又は予定)している低所得世帯

…世帯の収入が一定基準内の世帯

※申請の際には、進学する子どもが借受人となり、世帯主または世帯中心者が連帯借受人となります。

償還期間

学校卒業後、据置期間(6ヶ月以内)経過後20年以内

ご相談・お申し込みは、お近くの民生委員またはお住まいの市町村社会福祉協議会へ。

賛助会員ご紹介

平成29年12月31日現在

本会の活動に賛同いただける「賛助会員」へのご加入をお願いしています。賛助会費は、県内の地域福祉活動を支援するために使われています。ご加入いただきありがとうございます。

(敬称略・順不同)

企 業 ・ 団 体	一般社団法人大分県歯科医師会	医療法人社団仁泉会 畑病院	医療法人社団三杏会 仁医会病院
新日本法規出版株式会社 福岡支社	株式会社テレビ大分	医療法人岡仁会 大分共立病院	特定非営利活動法人ゆうゆう
株式会社電子印刷センター	株式会社豊和銀行	一般社団法人大分県建設業協会	大分県済生会日田病院
医療法人向心会 大貞病院	株式会社大分銀行	大日商事株式会社	一般社団法人生命保険協会
医療法人英然会 里見医院	社会福祉法人玖珠会	医療法人慈愛会 向井病院	株式会社大分航空トラベル
大分ゼロックス株式会社	有限会社夢のおと	大分県商工会議所連合会	日本電通株式会社大分営業所
大分県司法書士会	グローバルライフ生石	医療法人鶴山会 秋山医院	特定非営利活動法人ホビータン
医療法人社団唱和会 明野中央病院	大分電子工業株式会社	丸果大分大同青果株式会社	東九州設計工務株式会社
玖珠工業株式会社	有限会社明友	よしども内科・神経内科クリニック	株式会社大分放送
嶋津内科医院	株式会社大分白屋	株式会社佐伯建設	一般社団法人大分市医師会
杉谷診療所	有限会社寺司装備	ライフホームまなひ	大分朝日放送株式会社
有限会社ワイズケア	医療法人社団親和会	公益社団法人大分県理学療法士協会	三井住友信託銀行株式会社福岡天神支店
医療法人社団内尾整形外科医院	株式会社オー・ビー・シー	濱田重工株式会社大分支店	有限会社福 小池原福招苑
有限会社大分エンゼル商事	名鉄観光サービス株式会社大分支店	特定非営利活動法人銀河鉄道	
社会保険労務士事務所SRI	医療法人鶴友会 老人保健施設メイトピアこが	大分県医師会	

個 人

池辺 廣司	平岡 祥子	西永 和夫	河野 千代子	松田 重博	広瀬 通隆	梅木 豊誌
臼杵 清次	伊東 雅人	富高 義和	神本 紀武	大津 幸江	高橋 勉	

善意銀行預託者

平成29年8月～平成29年12月

いただいた金銭・物品は、社会福祉施設や各種地域福祉活動、またご指定があった事業等に活用しています。ご協力、ありがとうございました。

- 大分県書写書道指導者連合会
- 清水千恵美
- 九州納豆組合
- 大分県農業共済組合
- 公益財団法人老人はげみの里見会
- 山本英子
- 明治安田生命相互会社
- 山恋フェスティバル
- 小野重遠

- 日産プリンス大分販売(株)・日産プリンス大分販売労組
- ものまねキャラバン代表コロッケ
- 大分教区仏教婦人会連盟
- 大分笑いヨガクラブ 代表モジュンダル由美子
- 聖公幼稚園
- 城東保育園
- 労働者福祉南部ブロック協議会
- 豊和銀行従業員組合

(敬称略・順不同)

